

# 維和小だより

上天草市立維和小学校 学校だより NO. 14  
令和7年2月18日(火)発行 文責 手嶋淑恵

## 学校教育目標

夢に向かい、自ら進んで学び、  
心豊かでたくましい児童の育成



維和小HPへ

本日から2週間、二十四節気の2番目「雨水」となりました。雨水は、寒さが次第にゆるみ、雪が雨に変わる頃のことを言います。この頃は、寒い日が続いたかと思うと暖かくなることを繰り返す「三寒四温」の時期でもあります。寒いときは晴れ、暖かいときは天気が悪くなるとも言われています。天気の変化に合わせ、校庭の植物も春への準備を進めているところでしょう。

3学期は「あっという間に過ぎていく」とよく言いますが、本当に実感しています。明日は児童総会が予定されており、今年度のまとめを行います。また、どの学級も、学習面・生活面ともに、現学年での学びを確実なものとし、次の学年への準備を進めています。残り1ヶ月、悔いなきよう何事にも精一杯取り組んでいってほしいと思います。



## 熊本県学力・学習状況調査について

昨年12月に、3年生以上の学年で行われた「熊本県学力・学習状況調査(国語・算数)」の結果を21日(金)の学級懇談会にてお渡しします。

ほとんどの学年が国語・算数ともに県平均を上回り、大きく伸びが見られました。特に、算数は県平均を10ポイント以上上回った学年も多くありました。本校は、ここ数年算数科の研究に取り組んでおり、その成果が現れたと実感しております。ただ、観点別・領域別に見ると課題もあり、さらに指導の充実を図っていく必要があります。

また、意識調査においては、これまで課題であった「成功体験と自信」「感動体験」の数値も県平均を上回りました。



結果の詳細については、学級懇談会の中で担任より説明いたします。現在、学校では、この結果をもとに、全職員で分析を行い、これまでの自分たちの指導の成果と課題を謙虚に振り返るとともに、今後の指導の改善策を検討しています。また、子供たち一人一人に対し、これまでのがんばりを認め、褒め、励まししながら、今後の学習や生活への意欲づけを行っていききたいと思います。

1・2年生につきましても、先日、学力テストを実施しました。結果が届き次第、お渡しいたします。

保護者の皆様には、日々の家庭学習への見守りや支援、励ましの声かけ等をいただいております。引き続き、よろしくお願いいたします。



## 人権集会「自分も周りの人も大切に！」

今回の人権テーマは、「自分の大切さと共に、他の人の大切さを認める」でした。運営委員会から、テーマについての説明と呼びかけがあり、関連した話を校長からも行いました。また、「コッコロ劇場」を視聴した後、話し合い、みんなで感想交流を行いました。「自分のいいところを伸ばしていきたい」「友達を大切にしていきたい」等、自分自身や周りの人達のことを考えた発言が多くみられました。とても心温まる会になりました。



## 目指せ、記録更新！なわとび大会！！

子供たちは、なわとび大会に向けて、毎日練習を重ねてきました。個人種目ですが、団体種目の大縄の練習をがんばる姿も印象的でした。朝のちょこみんとタイムに、声をかけ合いながら取り組む維和っ子の姿に元気をもらいました。上級生が下級生にアドバイスをしたり励ましの声をかけたりしながら練習する姿を大変微笑ましく思いました。



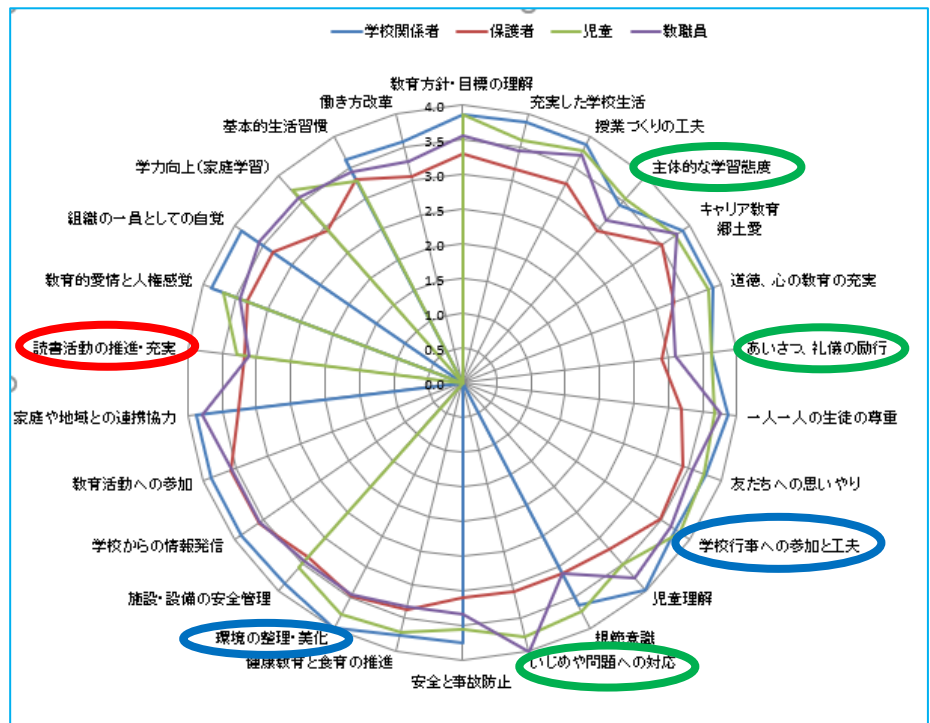
本番では、個人種目は、跳んだ回数によって点数化され、合計点数を競います。全員5種目跳ぶので、最後の方は手足がかなり疲れていたようでしたが、みんな最後までがんばりました。大縄での8の字跳びは3分間で跳んだ回数を競います。人数が少なくなったので、今年度は2班合同でチャレンジしました。どちらも新記録を出すことができ、大喜びでした。チャレンジ力を十分に発揮し、満足気の子供たちでした。

## 学校評価の結果について

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。結果について、お知らせします。

全体的に高い評価を得ており、日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただいていることに感謝いたします。

右のグラフにおいて、比較的評価が高かった項目を青囲み、低かった項目を赤囲みで示しています。「読書活動の推進・充実」については、子供たちの読書への興味関心をもたせる工夫の必要性をより感じています。



緑囲みで示した項目は、子供・保護者・教職員との評価に差があったものです。例えば「主体的な学習態度」では、肯定的な回答が子供は100%でしたが、保護者は76.7%と乖離していました。これらの結果を真摯に受け止め、その要因を探り、三者が同様に評価が高まるよう努めていきたいと思います。「目指す子供の姿」を共有しながら、継続的な指導を行うとともに、様々な活動の中で子供一人一人が力を十分に発揮できるよう、工夫を図っていきたいと思います。

また、昨年度と比較し、変容が顕著に見られた点は、子供たちの肯定的回答100%の項目が3つから13に増えたことです。1年を通して「SMILE PROJECT」に取り組み、子供たち自身が学校生活をよりよくしていこうと意識してきた成果であると言えます。

その他、記述欄には、生徒指導に関する対応についてご意見をいただきました。個別にお話を伺い情報を共有できましたこと、感謝申し上げます。ありがとうございました。

本アンケート結果の中で、「どちらかという、そう思わない」「思わない」と回答のあった項目についても、全職員で協議し共通実践を図っていきます。また、子供たちのよりよい成長のためには、学校と家庭が一体となって取り組んでいくことが望まれます。今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。